



初夏の候、みなさまにおかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの影響は世界に及び、我々の生活も外出自粛要請により大きな影響を受けました。幸い本市での罹患者は1名で止まっていますが、経済への影響は大きく、元の経済活動に戻るには時間がかかりそうです。三原市はいち早く中小事業者支援や子育て世代支援を打ち出しました。これらの迅速な対応は、大いに評価できると感じています。
今回は、6月9日～6月23日で開催された令和2年第5回三原市議会定例議会の状況報告と活動状況をみなさまにご報告致します。

1. 令和2年度の田中ひろき活動方針

- ◆ 所属会派 新風会
- ◆ 担当委員 経済建設委員会、都市計画審議委員会、議会広報部会
補正予算特別委員会副委員長、駅前東館跡地活用調査特別委員会副委員長
- ◆ 活動方針 **住みやすく 生き生きとした 魅力ある三原をめざします!!**
- ◆ 活動目標 **賑わいと交流のある街づくりのための行政への提言と、自らが動き変革を進めて行きます。**
※活動内容は、後援会だよりで報告していきます。

2. 6月定例議会一般質問で問う

6月の定例議会の一般質問では、(1)小早川隆景公をシンボルにしたまちづくりによる観光戦略について、(2)健康寿命ナンバーワンに向けての取り組みについて、本市の考えを問いました。
以下に、一般質問の概要を示します。

(1) 小早川隆景公をシンボルにしたまちづくりによる観光戦略について

- 【質問】①本市には、核となる明確な観光のコンセプトがない。中心市街地のシンボルとして隆景公を置き、テーマ性を持ったまちづくりによる本市独自の観光戦略を練るべきではないか。
②築城450年事業の年に、市議会で「歴史と文化を大切にしたいまちづくりを推進する都市みはら」の宣言が出されたが、広く市民に周知し、同じ方向を向いてまちづくりをするために条例化も考えるべきではないか。



(浮城祭武者行列風景)

- 【答弁】①街のシンボルやストーリー性を持った特色ある戦略は必要であり、隆景公を核としたテーマ性のある観光振興について検討していく。
②市民の地域への愛着や誇り、郷土愛の醸成のために、全市的な取り組みは目指すべきと考える。条例化は、他都市も参考にして研究する。

※ 本市は、「観光が本市を支える産業の柱のひとつ」に育てる計画ですが、核となる明確な観光コンセプト(全体を貫く基本的な考え方)がなく、大きく育っていません。私は、観光客を呼び込む新たな仕掛けが必要であり、三原の礎となった隆景公をシンボルに、水の城下町を感じてもらうテーマ性をもったまちづくりの観光戦略を提案しています。

(2) 健康寿命ナンバーワンに向けての取り組みについて

- 【質問】①本市の健康寿命は、県内で何番目なのか。また、その原因は何であるのか。

- ②健康寿命を延ばすための具体的な取り組みについて問う。
- ③サン・シープラザ3階で開催されていた健康体操が、改修と新型コロナの影響で、再開の目処が立っていない。2階多目的ホールが使えないのか。

- 【答弁】①県内23市町中、男性は78.79歳で18位、女性は84.40歳で6位である(2017年)。男性の順位が悪い理由を調査したものは無いが、県全体で、男性は喫煙や塩分摂取量が多く、社会的なつながりが弱いことが要因としてあげられている。
- ②重点事業として、ウォーキングや筋力アップ体操の推進、特定健診・基本健診、がん検診の推進を掲げ、各種推進活動に取り組んでいる。
 - ③感染防止対策も考えながら、事業再開場所と方法を検討している。再開時は、広報やホームページ等で知らせる。

※ 本市は健康寿命ナンバーワンを目指すことを宣言しています。実現するために、何に力を入れていくべきかを明確にする必要があり質問しました。ウォーキングや健康体操の推進、各種健診の受診率アップをどう進めていくかが重要になります。

3. トピックス

◆ 新型コロナウイルス感染症に係る三原市独自の緊急支援対策の状況について

新型コロナに係る本市の緊急支援は迅速に実施され、6月初めまでに本市独自事業が第4弾まで行われています。特に経済対策として、国や県の支援とは別に約6億円の補正予算が組まれました。主として本市の貯金(財政調整基金)約54億円を取り崩して対応することになります。

- | | | | |
|-----|---|-----|--|
| 第1弾 | 小規模事業者経営改善資金利子補給事業 雇用継続助成金交付事業(助成率アップ) | 第3弾 | 店舗賃借料補助金交付事業 (補助率1/2,3か月分で最大15万円) |
| 第2弾 | 事業継続支援給付金事業(一律5万円給付) 三原おまもりチケット支援事業 | 第4弾 | 子育て世帯臨時特別給付金事業 経営支援給付金交付事業 観光事業者等支援給付金交付事業 等 |

※支援の詳細は、広報や市ホームページをご参照ください。

◆ 鷺浦町須ノ上地区のコミュニティFM整備事業について

鷺浦町須ノ上地区は、コミュニティFMを活用した災害時一斉情報伝達の不感地域でしたが、コミュニティFM放送小規模送信アンテナを須ノ上地区に設置することで、不感対策を実施することになりました。予算は6,600千円で、今年度中に実施されます。これで、災害時一斉情報やFMみはらも良く聞こえるようになります。

4. 活動報告 & お知らせ

(1) 歴史を活用した三原の新たな観光戦略について

一般質問でも述べましたが、新たな観光客を呼び込み、駅前の経済活動を活発にするためには、他所にはない本市独自の特色を持たせたまちづくりが必要です。私の提案している、隆景公をシンボルにした歴史が感じられる水の城下町構想を実現すべく、経済建設委員会で活動しています。



(古地図と現在の中心市街地)

5. あとがき

新型コロナウイルスの影響で、経済が低迷し大きな影響が出ています。早く平常に戻ることを願っています。先日、駅前に新しくオープンする「キオラスクエア」の視察を行いました。真新しい施設と広場や2つの通りは新たな三原の顔となってくれると思います。是非みなさんも足を運び、賑わい作りに協力をしていただけたらと思います。感想も是非お聞かせください。



田中ひろき後援会

田中裕規
 ☆ プロフィール
 - 1959年8月9日生
 - 東京農工大学工学部大学院卒
 - 元帝人株式会社

<連絡先>
 三原市港町三丁目16番13号
 携帯: 090-7137-0440
 FAX: 0848-64-8911
<https://www.tanakahiroki.info/>
 <発行責任者> 武郷勝巳